

2014年度 自己評価シート

1 本園の方針と保育目標

「神を愛し、人を愛する」心豊かな人間形成に努めるキリスト教保育

◎聖書の話や祈りを通して、神の愛、主イエス・キリストの恵みに触れ、愛される喜び、愛する喜びを知り、光の子として成長することを願う。

◎自由で明るい雰囲気の中で、個性を大切に、知性を伸ばし、健康的な体をつくり、豊かな情操を育む。

◎集団生活を通して、基本的な生活習慣を身につけ、責任感や忍耐力、思いやりなどの社会性を養う。

2 本年度に定めた重点的に取り組む学校評価の具体的な目標

○保育内容の充実と保育者の資質向上

○要支援児の個別支援の充実

○マニュアルに基づく防災・防犯体制の確立

3 評価項目の達成と取り組み状況

評価項目	結果
保育内容の充実と保育者の資質向上	全教諭で幼児の発達の様子をとらえるためのエピソード記述法に取り組み、担任だけでなく子どもを多面的にとらえる機会として研修を定期的実施した。自由に意見交換をしながら共通理解に努めた。更なる保育内容の充実と資質向上のための教諭の学びは継続する。
要支援児の個別支援の充実	・他の療育機関との連携を図り、支援計画の共有や視察やカンファレンスを行うことにより、一人ひとりの子どもに寄り添う援助ができた。 ・積極的に発達障害に関する研修の参加や勉強会を持ち、知識を深められるよう努めた。
マニュアルに基づく防災・防犯体制の確立	・防災防犯意識を高め、教職員の研修等を行った。色々なケースを想定して、全園児による避難訓練を数回実施した。 ・非常用持ち出しリュックの整備と園内の設備の再確認をした。

4 学校評価の具体的な目標や計画の評価結果

新しい教諭が加わったことにより、保育内容や指導の具体的な在り方、方法についての共通理解を丁寧に進めた1年となった。

また、エピソード記述の園内研修を続けていくことにより事例や実践から学ぶ経験を増やし、スキルアップにつなげていくことができた。更に、保育者が子どもに心を寄り添わせ、心の育ちに目を向けていくことができるよう学びを続けていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み状況
保育内容の充実と保育者の資質向上	<ul style="list-style-type: none">・教職員一人ひとりが自分の保育や役割を振り返り、自己評価、自己点検できる意識を持つ。・保育環境の充実を図る。・研修会への参加や学ぶ姿勢を続けることで、自身のスキルアップを心掛け、子どもを見る目やあそびを見る目を養う努力をする。
要支援児の個別支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・医療・福祉など専門機関との連携を充実させ、一人ひとりの発達に則した支援ができるように努める。・保護者との信頼関係を築き、情報の共有、相互理解に努める。・研修会や専門機関との相談・事例検討などを通して学ぶ姿勢の強化を図る。
マニュアルに基づく防災・防犯体制の確立	<ul style="list-style-type: none">・園の対応はまだ十分とは考えていない。今後もセキュリティに対する教職員の意識の強化に努める。・消防・地震・防災訓練など年間計画を作成し、様々な非常事態を想定して取り組む。・非常時の保護者への園児受け渡し訓練の実施・教職員全員に救命講習（AED）の実施